

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

12月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

## 誰もが生まれながらにして

校長 岩崎 健治

冬晴れが心地よい師走の頃となりました。今年も残すところ1ヶ月あまりとなりました。学校では、それぞれの学年で、外部の人との出前授業や芸術的・文化的な交流、地域のボランティア活動、校外の体験活動や中学校の部活動体験、他校との球技交流会など様々な場面で、人との交流やかかわり、良い体験に触れる機会が増えてきました。

12月4日から「人権週間」が始まり、10日は「人権デー」と定められ、全国各地で人権啓発活動が行われます。本校でも、11月28日から「人権週間」として全校で取り組み、人権について考えていきます。人権についての朝会で話たり、人権標語などに取り組んだりします。

朝会で、次のような話を子どもたちにしました。『私たち一人ひとりには、自分の意思や努力で変えられない多くのことがあります。例えば、この世に生まれたとき“いつ”生まれてくるのか、“どこ”に生まれてくるのか、そして、どのような“家族”のひとりとして生まれてくるのかということ、自分では決めることはできません。でも、私たちは人と付き合うときに、その人そのものではなく、「生まれた国」や「生まれた場所」「顔つきや体形」などにこだわってしまうことはないでしょうか。「あの人は日本人ではない」「あの人は、普通と違う」などとその人そのものの特徴や性格とは関係のないところで差別をしたり、傷つけたりしてしまうような行動をとってしまっていないでしょうか。こうした「差別」や「こだわり」は、人を傷つけ、「いじめ」につながります。このようなこととは反対に、誰もが生まれながらにして人間らしく幸せに、安心して心豊かに生活できる権利を人権といいます。人が人として、誰もがみんな、生まれたときからずっと、ひとりの人間として、社会のルールの中で、明るく、安心して生活をおくる権利なのです。

家でも学校でも地域でも、みんながこの人権を大切にして、誰も差別を受けることなく、みなさんが安心して豊かに、楽しく生活できることを願っています。そのためには、社会のルールの中で、一人ひとりが自分や友達のことを考え、相手に対する思いやりをもつことが大切です。そして、自分も人も大切にしてほしいと心から思っています。』



《花壇サポーターと子どもたちと一緒に》

今後も学校教育の様々な場面をよい機会ととらえ、誰もが人を思いやる優しい気持ち、自分も人も大切にしたい気持ちを伸ばしていけたらと思います。

そして、日々の学習活動の充実や子どもたち一人ひとりが安心して心豊かに学校生活を送れるように、全職員一丸となって、教育活動を進めて参ります。そして、誰もが安全・安心で、元気に、豊かな気持ちで年末・年始を迎えることを心より願っております。保護者・地域の皆様には、多くの場面でご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

